

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍で外出の支援を行う機会や家族からのご要望を伺う機会が以前に比べ少なくなっている。	外出については感染対策を実施した上で、現状にあわせた外出等の行事を計画、実施し家族の要望については、アンケート等の頻度を増やすことで情報の共有を図る。	・委員を中心に外出企画・計画を立てる。 ・各担当で家族様へ電話とあわせて書面にて意向を伺う頻度を増やしご要望を反映できるよう情報の共有を図る	12ヶ月
2	18	介護計画に沿って個別の生活リハビリを実施しているが、本人様の状態にあわせた変更が十分に行えていない。	専門職によるアセスメントを定期的に行って頂いているため本人様の状態にあわせた評価をもとに計画を立て実践する。	専門職による個々の評価内容をもとに、本人様の現状に即した生活リハビリの実施を行い、日々のレクの中にも生活リハビリを取り入れることができる様に各担当でプランに取り入れケア会議にて周知と進捗の確認を行う。	12ヶ月
3	2	地域交流の機会が少なくなっている	感染対策に留意しながら、行える地域との交流を図っていく。	・地域に向けた認知症サポーター養成講座開催に向けキャラバンメイトの取得。地域と入居者様が感染対策に留意し協同行える行事への参加を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。